

# 3月アトリエカレンダー

アーティスト滞在制作 3月4日～29日 10時～18時  
毎週月・火曜日はお休み、見学自由 日立シスラムホール仙台2階アトリエ

期間中、伊達さんはアトリエ常駐予定ですが、やむを得ず不在にする場合があります（この場合も、室内の見学は可能です）。  
予めご了承ください。なお、面会ご希望の方は、事前に予約をとられるか、「お茶っこ」にご参加下さい。急ぎのご連絡は FAX やメールではなく、お電話で。

(公財) 仙台市民文化事業団 事業課  
022-301-7405 (平日9～17時)  
080-1834-4382 (3月中の休日10～18時)

**お茶っこ**  
お茶のみながら、気軽なおしゃべり  
3月中の毎週土曜日 15時～16時30分  
無料、申込不要、直接会場へ

## 話題のキーワード

- ・昔仙台にあった今はなくなってしまうもの  
(通動・通学路、遊び場、建物風景など)
- ・山神碑 ・トロスコ ・穴ぼこ ・青葉山
- ・工芸 ・美大 ・美術館 ・アートプロジェクト
- ・取材のしかた ・新聞のつくり方 ・川埋もれ木
- ・愛宕下水力発電所導水トンネル ほか

## 教えてほしいこと

- ・亜炭層が見える場所 ・仙台の地下のこと
- ・中島池 ・亜炭山 ・ホタルの思い出
- ・火薬庫のこと ・防空壕のこと ・工兵山の風景
- ・奥津春夫先生の思い出 ・ご自宅の埋もれ木細工
- ・青葉山の開拓時代 ほか

📧 スケジュールの最新情報はアログ・ツイッターで @machinakaka\_art

亜炭  
見学の場を創る会

香古学

## アトリエ公開制作

展覧会  
うたを  
く  
ろ  
う

展覧会、に出品する作品の明き、伊達伸明さんが、日立シスラムホール仙台の「アトリエ」を会場に、美作中、伊達さんの見学した情報と作品の交換をホラシラスムホール仙台の「アトリエ」に一般に公開します。  
制作現場を伊達さんと「アトリエ」でお茶うたの開催します。  
期作現場を伊達さんと「アトリエ」でお茶うたの開催します。  
る。悩み事のある方、進路相談などなんでもお気軽にお立ち寄り下さい。

|      |              |      |           |
|------|--------------|------|-----------|
| 1 日  | 休室 (会場準備)    | 17 火 | ↑         |
| 2 月  | ↑            | 18 水 |           |
| 3 火  | ↑            | 19 木 |           |
| 4 水  |              | 20 金 |           |
| 5 木  |              | 21 土 | 🍵         |
| 6 金  |              | 22 日 |           |
| 7 土  | 🍵            | 23 月 | 休室        |
| 8 日  |              | 24 火 | ↑         |
| 9 月  | 休室           | 25 水 |           |
| 10 火 | ↑            | 26 木 |           |
| 11 水 | 東北大学植物園 研究発表 | 27 金 |           |
| 12 木 |              | 28 土 | 🍵         |
| 13 金 |              | 29 日 |           |
| 14 土 | 🍵 榎木野衣さん 参加  | 30 月 | 休室 (会場撤収) |
| 15 日 |              | 31 火 | ↑         |
| 16 月 | 休室           |      |           |

## 3月11日 午前中 東北大学植物園にて

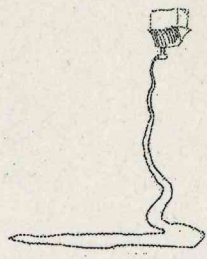
東北大学植物園内での亜炭調査、研究発表！  
植物園を調査利用する団体が、1年間の研究成果を発表する催しが開催されます。園内の青葉山亜炭に関する調査を行った「亜炭香古学」も発表します (発表者未定、無料、どんなに見学出来ます)。この日植物園は休園中ですが見学者は入園出来ますので、直接植物園の会場へおこしください。

## 3月11日 日は、午前中伊達さんは不在です。

## 3月14日 日は、伊達さんは15時まで不在です。

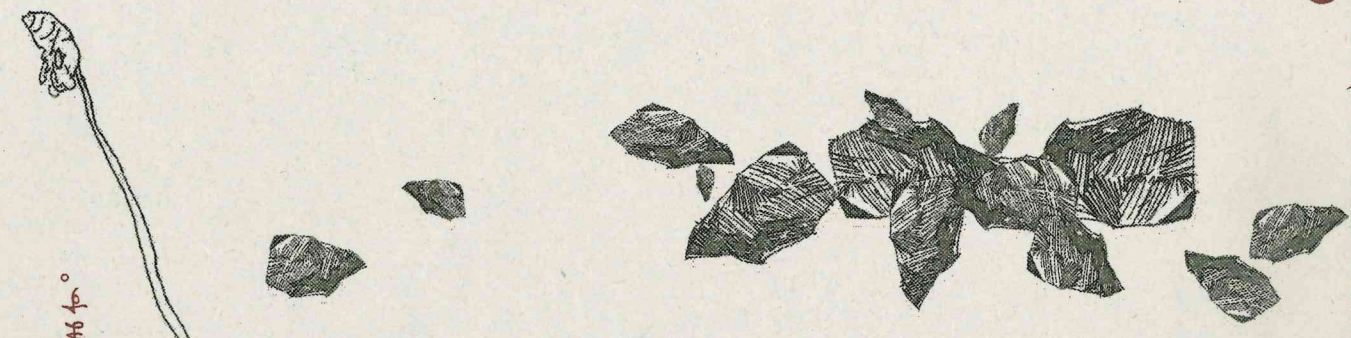
## 3月14日のお茶っこは、「亜炭香古学 秘話」

美術評論家 榎木野衣さんが参加します。



主催：日立シスラムホール「駅下」旭ケ丘駅「下」徒歩三分  
会場：日立シスラムホール「仙台」仙台市青年文化センター2階エ  
公開：平成二十七年三月四日(水)～二九日(日) 毎週土曜日 15時～16時半

② (公財) 仙台市民文化事業団 事業課 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5日立シスラムホール仙台内  
☎ 022-301-7405 (平日9～17時) 080-1834-4382 (3月中の休日10～18時) FAX 022-727-1874 (平日)  
✉ info@sendaicf.jp アログ www.sendaicf.jp/machinakaka2012/blog/date/



## 「展覧会をつくる」の 「展覧会」とは？

伊達伸明さんは、平成 24 年から仙台で「垂炭香古学～足元の仙台を掘りおこす」という活動を行っています。

これは、半世紀前まで仙台で自給していた生活燃料「垂炭」と、かつての仙台名産工芸品「埋もれ木細工」が、私たちの暮らしにどのように関わっていたかを振り返り、これらを通してみえてくる人々の生活の物語を記録して味わうとともに、今も街に残る痕跡を掘りおこし、多様な方法で愛でようとするものです。平成 27 年度は、これまでの活動の集大成として展覧会を行います。



展覧会を行います。

(仮称) 垂炭香古学 やまのひかり・かわのほし展

平成 27 年 8 月 10 日～18 日 (予定)

せんたいメディアアーク 6 階ギャラリーー



展覧会では、仙台の地域資源「垂炭・埋もれ木」をキーワー

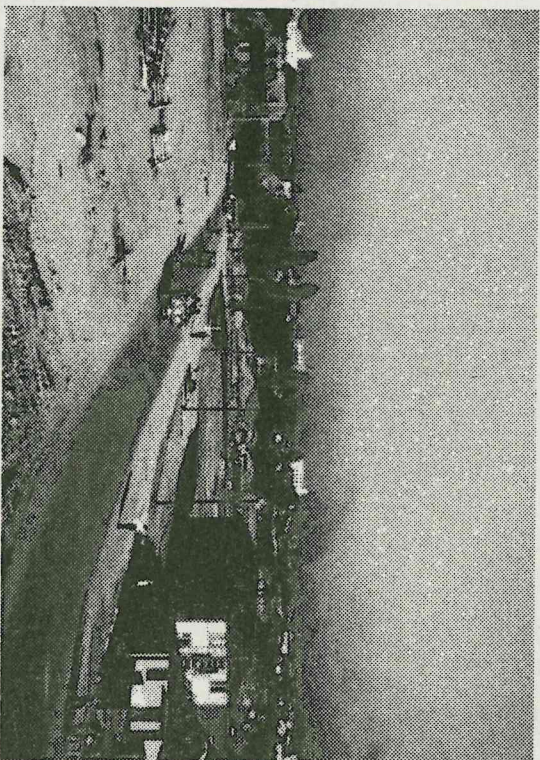
ドに、市民が持ち寄った記憶（言葉）や思い出の品（生活用品、写真、地図など）を素材として街の記憶風景を復元することを試みます（今回のアトリエ公開制作では、出品作の一部を制作します）。地中に潜む見えない物語（過去）と地上に表出する物語（現在）、足元のカタチがもつ膨大な時間の積層にこもる暮らしの物語を感じて下さい。

## 父 垂炭香古学

足元の仙台を掘りおこす

『垂炭は戦後の仙台市内で風呂用の燃料としてごく一般的な燃料であった。燃えると微妙な匂いが漂い、たそがれ時ともなると路地に紫煙がたなびいた。その匂いと煙で夕方方になったことを知り、一家だんらんのぬくもりを教えてくれた。』

（市史せんたい vol.12 より）



昭和 22 年 (1947) 頃仙台市の川内キャンノン (キャンノンセンドアイ) 所蔵：仙台市歴史民俗資料館

仙台は足元から生活燃料「垂炭」が採れる街でした。また同じ地層からは、地元の工芸特産品「埋もれ木細工」の原木も産出され、一家にひとつはあるともいわれるほど、普及していました。しかし時は流れ、かつて大人達を手伝って風呂の焚きつけをした子供たち（今や還暦越え）の記憶からも垂炭は消えつつあり、埋もれ木細工もまた、現在では最後の工人ひとりを残すのみとなってしまいました。地下鉄東西線工事が青葉山の垂炭層を掘り抜いて、奇しくも時代の地層が開かれつつある今、ひとむかし前の仙台のくらしの風景を、当時を知る方々の証言とともに再発見してみたいと思います。

伊達 伸明

## 制作ボランティア 募集



条件

・美術に興味のある方



お手伝いいただく内容

・調べる作業（地域史、フイールブックなど）

・埋もれ木を運ぶ、のこぎりで切る、みがく

・出品物目録づくり、資料整理

・新聞「垂炭香報」づくり

（クロスワード、取材記事）

・山神碑づくり（手芸、紙粘土）

・切り文字シール パネル貼り

・曲がったトロツコレベルをまっすぐにする

・作品の写真、映像等撮影のお手伝い

・石碑拓本とり作業（経験者歓迎）



その他

・交通費、謝礼はありません



活動期間

・平成 27 年 3 月～8 月末

（不定期、3 月中はカレンダー開室中にお越し下さい）



参加ご希望の方

・表紙掲載の「問合先」までご連絡下さい

→（公財）仙台市市民文化事業団 事業課



失われゆくものの「おみおくり」活動や、身近なものに新しい価値を与えてものづくりすることが得意な作家。（おみおくり活動とは、思い出を作品として残す、また人々の身近にあるものにこもる記憶を掘りおこすこと）

### こんなことができます

・調査（聞き取り、フイールブック、文献・地図）

・美術全般（漆工芸、木工、絵画、彫刻、グラフィック

デザイン、インスタレーション、アートプロジェクト企画）

1964 年大阪生まれ、大阪在住。1991 年京都市立芸術大学美術学部大学院工芸科修了。取り壊される建物の人肌こもる部材を用いてウクレレを制作する「建築物ウクレレ化保存計画」主宰。2000 年から現在まで寺院、学校、一般住宅など 65 件をウクレレ化。作品出品展覧会に水戸芸術館（2002 年）、兵庫県立美術館（2005 年）、国立民族学博物館（2005 年）、大阪市近代美術館心斎橋展示室（2006 年）、大阪歴史博物館（2011 年）、アルコムニエジウム（ソウル／2011 年）。またダンソー・砂通尾理が行う「ひとつとつダンス」（舞鶴赤れんがパーク／2010 年・2014 年、せんたいメディアアーク／2016 年 1 月）でウクレレ演奏を担当。ウクレレ以外の活動として「未来への素振り」（小山田徹との共同展示／京都芸術センター／2010 年）「池上遊覧鉄道」（岡田毅志との共同制作／総社市池上邸／2011 年）「一鼓さん」（楽器は語る／国立歴史民俗博物館／2012 年）豊中市市民会館おみおくり展（豊中市民ギヤラリー・ギヤラリー・クラス）、「阪大宿舍おみおくりプロジェクト」（大阪大豊中キャンパス内の職員用宿舍取り壊しに伴う企画）、アートプロジェクト「垂炭香古学」（仙台市内／2012-2016 年）などで作品を発表。